

町の特産品をPRしようとなかどまりイガ米～きてけフェアが2月4日(土)～5日(日)、青森県観光物産館「アスパム」で開催されました。

このイベントは、町の業者などが参加し、海産物、野菜、加工品を販売するブースを屋内外に設置、青森市民や観光客などをターゲットに町の特産品をPRしました。

今年は天候に恵まれ快晴となり、昨年よりも多くの来場者が訪れ、町の特産品を買い求めていました。

屋外では、応援に駆け付けた当町イメージキャラクターの米ケル、イカリん、米ケルJr.がダンスを



特産品求め大行列



大きなタコに興味津々

披露し、会場を沸かせていました。

また、イカ飯早食い競争やタコ重クイズ、餅つき大会・振舞などを開催し、参加者らを楽しませました。活ダコの展示では、初めて見る大きなタコに子どもたちも興味津々で、つついたりつかんだりして楽しんでいました。会場ではアスパムの冬まつり開催もあり、さまざまなイベントが行われ、盛り上がりを見せました。

## んだ！駅ナカいぐが！

いいなかどまり会  
がイベント開催

町を活性化しようと若者らで結成されたいいなかどまり会(会長・成田道史)が、2月26日(日)津軽中里駅の駅ナカにぎわい空間で「んだ！駅ナカいぐが！」を開催し、約300人が来場しました。

中里横笛愛好会の演奏・宮川獅子舞・太刀振り始まり、会場を盛り上げました。その後は、押し相撲やフリフリダンシングなどの催し物が行われ、子どもたちがこぞって参加していました。押し相撲では、手と手で押し合いながら、相手を丸い円の中から押し出すというもので、身長差がある取組や、なかなか決着がつかない熱い取組が行われました。フリフリダンシングでは、頭、腕、腹につけた万歩計を制限時間内にどれだけ振ることができるかを競うもので、参加した子どもたちの一心不乱に体を動かす姿に、来場者からは応援と笑い声が聞こえてきました。

参加した子どもたちは「万歩計を振るのが楽しかった。押し相撲では負けちゃったので今度やる時は勝ちたい」と話していました。



押し相撲



豆飛ばし



フリフリダンシング

